

令和7年度事業報告

(概要)

物価高がようやく落ち着きつつあった2月28日に、米国とイスラエルが国際法に違反しイランを攻撃したことから、原油価格が高騰し就業に係る資材等の値上がりが心配されます。

こういう状況下ではありますが、事業実績は、会員皆様の頑張りもあり前年度比697万円増の15,016万円となりました。

事業進捗についても、今年も酷暑となり熱中症への対応から屋外就業に遅れができました。今後も温暖化で毎年繰り返すことになるのでしょうか。

一方、会員増については、新聞各紙に募集チラシ折込み、これに合わせた入会説明会を臨時的に増やしたことや近年継続して実施しているシルボンヌサロンや独自イベント(文化美術展・ちょこっとマルシェ)開催でのセンター事業の紹介や勧誘から会員増となり、会員数は260名に(前年度246名、14名増)となりました。

就業機会の開拓については、自治会に訪問・依頼を行いました。企業・事業所には訪問・営業できず新たな就業の確保は無く、会員派遣事業も無くなりました。

安全就業では、昨年を上回る20件もの事故が有りました。どんなに注意していても事故になることがあります。会員各人の安全意識の向上が必要不可欠です。

その他の取組では、地域社会参加活動としてイベントのゴミ分別従事やシルバークリーナー、会員ボランティア班の地域ゴミ拾い実施で、地域を支えるセンターとしての信頼を得る活動を展開しました。

移動スーパー事業は2月27日で終了しました。近くに商店がなく、買い物に困っている地域の高齢者をサポートすることができればと始めた事業で、会員が就業を通じて高齢者支援に直接的に関わるケースとして始めたものの、事業の見通しも厳しく5年半で終了することになりました。会員の中でも販売サービスを利用いただいた皆さんには、これまで利用頂きありがとうございました。

今後も安全就業の徹底と会員増に努めると共に、事業の実績向上に向けて取組みを行い、経費節約に努め安定的な運営を構築していきます。

以下、令和7年度の具体的な取組みについて報告します。

(事業実績)

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

就業開拓提供等事業

(1) 受託事業

地域の日常生活に密着した高齢者の就業機会を確保し、希望や能力に応じた就業を行い、高齢者に就業機会の提供に努めました。

受託事業実績(令和7年度)

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
235人	21,715人日	90.4%	144,307千円

※主な就業内容は、草刈り、剪定、草取り、建物清掃、襖・障子の張替え、大工仕事、屋内片付け、屋内外の軽作業、広報配布、ワンコインサービス(簡易な困りごと支援)、着物着付け、子育て・福祉・家事援助サービス事業、介護予防日常生活支援総合事業等

(2) 独自事業

高齢者の知識、経験、能力を活用し会員の創意工夫をこらした多様なサービスの展開を行い地域社会に提供し事業の推進に努めました。

独自事業実績 (令和7年度)

就業実人員	就業延人員	契約金額
26人	1,411人日	5,853千円

※主な就業内容は、刃物砥ぎ、パソコン教室開催、布ぞうりや毛糸編み物製作、レザー製作教室、樹脂粘土教室、政庁まつり・福祉まつり等参加による作品販売、移動スーパー販売事業、ちよこっとマルシェ開催による作品販売

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業

労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業の太宰府市事務所として、地域における就業ニーズと高齢者が求める就業形態に応えるために、高齢者の就業機会を提供しました。

太宰府市実施事務所 (令和7年度)

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
1人	54人日	0.3%	200千円

※主な就業内容は、店舗での清掃作業等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ・総務広報委員会で、会員だより「宝満」を発行し情報の発信に努めました。
- ・シルバー事業の理解と支援が得られるよう、市民や事業所等に広く周知するため、ホームページ、インスタグラム、市広報誌などを活用した広報と情報公開を実施しました。
- ・政庁まつり(フリーマーケット)にてシルバー事業の広報や会員が制作した作品の展示販売を行った。他に福祉まつりにて広報周知に努めました。
- ・シルボンヌ(SC 女性会員)の活躍推進と会員増に向けたサロンを開催しました。会員でなくても参加できることで、入会の後押しとなり女性会員増となりました。
- ・会員文化美術展とちよこっとマルシェを SC で開催し、寒い時期にも関わらず多くの会員とご家族で来館いただき会員製作品の鑑賞や販売、製作体験に触れられ SC の取組や実態を認識してもらった。楽しい企画もあり参加者に喜んでもらった。

(2) 社会参加活動

シルバー事業の理解と周知及び地域社会に少しでも寄与するためボランティア活動を実施しました。

- ・会員によるボランティア班「里山を守る会」が政庁跡周辺と市民の森、御笠川遊歩道、政庁通りのゴミ・空き缶の回収などの美化活動を定例で月1回、雨天を除き9回実施しました。参加者は延べ102名。
- ・会員活動推進事業(ポイント制)は、地区会議やクリーンデー活動、ボランティア参加をとおして、SC の目的である地域社会の発展に寄与する一助としています。
- ・市民まつりのクリーンステーションでゴミ分別収集にボランティアとして活動しました。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の徹底

- ・「安全はすべてに優先する」の理念のもと、安全適正就業委員会を10回開催。その中で安全パトロールを計8回実施した。しかしながら、事故発生件数は、傷害事故が12件、賠償事故が7件、自動車事故1件の合計20件と前年から大幅に増えた。
- ・7月が安全・適正就業強化月間であり、安全就業に努め事故を起さないと決意表明の為に令和7年7月7日に SC 玄関前で「安全就業決起集会」開催
- ・福岡県連合会主催の安全就業促進大会 令和7年7月31日(木)
事務局含め7名参加 会場:福岡市東区東市民センター「なみきホール」
野田勝彦会員の安全標語が優秀作品として表彰を受けた。
- ・「安全就業促進大会」令和8年1月23日 会場:プラム・カルコア太宰府
安全標語優秀作品3点の表彰、メモリアルパークバラ班野田会員の事例発表
「安全就業への取組」、高齢者の交通事故防止について講話、音楽に合わせたフレイル予防体操を実施し、最後に安全就業宣言をした。会員56名参加

事故0実現の為には、会員各人の安全意識を相当高める必要があります。

(2) 適正就業の推進

- ・就業適正要綱に基づき、センターの趣旨目的に沿った公平で適正な就業機会の提供を進めました。
- ・ワークシェアリング等により多くの会員に公平な就業機会を提供するため、会員の希望に沿った就業提供、未就業会員の解消に努めました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

会員及び入会を希望する方を対象に随時、就業相談を行いました。未就業会員に対し就業先相談を令和8年2月3日～7日に設定したが相談は有りませんでした。

(2) 入会説明会の開催

入会説明会は毎月2回(第1・第3金曜日)開催し、希望する就業について個別の面談を行ない入会促進に努めました。なお、説明会以外でも随時希望者に対して説明を行いました。

4 研修・講習事業

就業に必要な技能、知識の取得、安全就業に関する研修実施しました。

- (1)自動車安全運転競技大会(令和7年9月23日) 会員2名参加
会場:西鉄自動車学校 安全知識と運転技術も必要な競技会に参加しました。
- (2)筑紫・糸島地区 SC「子育て・福祉・家事援助会員」合同研修会(11月20日)
会場:太宰府市 SC 参加会員4名
家事援助に必要な清掃の知識や方法をプロ清掃業者の講師から学んだ。
- (3)高齢者交通安全講習会(令和7年12月9日)
安全運転度がチェックされる講習に会員7名参加 会場:筑紫野自動車学校
- (4)県 SC 主催技能講習会(刈払い機、ハウスクリーニング)に参加した。
一般受講者が受講後当センター会員として入会した。
- (5)新入会員研修会(令和8年1月19日) 参加21名(対象者50名)
剪定班の芝会員から「人が幸せを感じる5つの要素」と題して、新会員に仕事を続けると良い事が多く楽しく健康でいられるとの体験発表と接遇実技は鳴野智子講師から就業での接客技能と保身の為の記録の重要性を学んだ。
- (6)e スポーツ体験(令和8年2月21日太宰府西小学校区地域会議開催時)
頭の体操と普段使用しない筋肉も使い、楽しく適度な運動の時間だった。
フレイル予防になり今後も開催予定していきたい。